

## APS/生産スケジューリングシステム PlanWizard

### Ver18.0 から Ver19.0 までのバージョンアップ詳細履歴

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)

弊社ユーザー様のご要望等を踏まえながら、常に最新の生産スケジューリング技術を開発しております。

#### Ver19.0 6 Ver19.0 (H18.6.14)

(追加・改良)

- (1) オーダーリストへ「製造指図情報」テーブルフィールドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (2) 「生産計画 - 製造指図 - 製造指図書発行イメージ確認...」コマンドの追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (3) 「生産計画 - 製造指図 - 製造指図書発行...」コマンドの追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (4) 「生産計画 - 製造指図 - 発行済製造指図書の取消...」コマンドの追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (5) 「生産計画 - 製造指図 - 発行済製造指図書のイメージ確認...」コマンドの追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

#### Ver19.0 5 Ver19.0 6 (H18.6.8)

(追加・改良)

- (1) 「マスター - 製造指図書出力設定マスター」コマンドを追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (2) 生産パターンマスターへ「製造指図情報」フィールド(テーブル型)を追加。  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (3) 「生産計画 - 製造指図」ポップアップメニューの追加
- (4) 「生産計画 - 製造指図 - 製造指図基本情報リスト作成...」コマンドの追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (5) 「生産計画 - 製造指図 - 製造指図基本情報リスト編集」コマンドの追加  
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

#### Ver19.0 4 Ver19.0 5 (H18.5.29)

(追加・改良)

- (1) コントロールファイル編集ツール「\_ControlEdit.xls」(Excel ファイル)を追加。  
このツールを使用するとコントロールファイルの編集が非常に簡単になります。  
使用するためには、添付ファイル「\_ControlEdit.lzh」を解凍後、PlanWizard  
インストールフォルダ内の Excel フォルダへ「\_ControlEdit.xls」を入れて下さい。  
さらに PlanWizard の初期設定「その他 6」タブの「コントロールの編集に  
専用ツールを使用する」を「Yes」に変更して下さい。  
詳細な使用方法等については添付資料を参照下さい。  
また、使用するには、Excel2000 以上がインストールされている必要があります。

Excel は、マイクロソフト社の登録商標です。

Ver19.0 3 Ver19.0 4 (H18.5.23)

(追加・改良)

(1) ガントチャートの特殊文字へ書式追加

%SSF、%SSFQ、%SSFW、%SSP、%SSPQ、%SSPW、%SSB、%SSBQ、%SSBW  
%LSF、%LSFQ、%LSFW、%LSP、%LSPQ、%LSPW、%LSB、%LSBQ、%LSBW  
%SAF、%SAB、%LAF、%LAP、%LAB

の特殊文字の直ぐ後ろに"[?]"の書式を追加しました。

"[?]"書式の中にスペースは含まないで下さい。

"[?]"書式を付加しない場合は、現状通り、全レコードの情報を取得します。

各特殊文字の情報の?行目の情報を取得します。"? "は、1~9の数字のみ。

例：%SSPW[1]

シリーズの生産リソース [ P ] (名称 + 数量) の 1 行目の情報を取得します。

(2) ガントチャートの特殊文字へ以下を追加 ("[?]"の書式が使用可能)

%OGI オーダー全体の原材料情報 (名称)

%OGIQ オーダー全体の原材料情報 (数量)

%OGIW オーダー全体の原材料情報 (名称 + 数量)

%OGA オーダー全体の原材料引当て情報 (名称)

%OGAQ オーダー全体の原材料引当て情報 (数量)

%OGAW オーダー全体の原材料引当て情報 (名称 + 数量)

Ver19.0 2 Ver19.0 3 (H18.5.17)

(追加・改良)

(1) ガントチャートの特殊文字へ書式追加

%LGI、%LGIQ、%LGIW、%LGA、%LGAQ、%LGAW の特殊文字の直ぐ後ろに  
"[?]"の書式を追加しました。"[?]"書式の中にスペースは含まないで下さい。

"[?]"書式を付加しない場合は、現状通り、全レコードの情報を取得します。

各特殊文字の情報の?行目の情報を取得します。"? "は、1~9の数字のみ。

例：%LGIW[1]

ロットの原材料情報 (名称 + 数量) の 1 行目の情報を取得します。

(2) ガントチャートの特殊文字へ以下を追加

%SGI シリーズ全体の原材料情報 (名称)

%SGIQ シリーズ全体の原材料情報 (数量)

%SGIW シリーズ全体の原材料情報 (名称 + 数量)

%SGA シリーズ全体の原材料引当て情報 (名称)

%SGAQ シリーズ全体の原材料引当て情報 (数量)

%SGAW シリーズ全体の原材料引当て情報 (名称 + 数量)

Ver19.0 1 Ver19.0 2 (H18.5.11)

(追加・改良)

(1) マクロコマンド「DECISION\_BY\_CHAIN」を追加

書式：DECISION\_BY\_CHAIN

「スケジューリング - 実績 - 連鎖確定...」コマンドを実行します。

(2) マクロコマンド「FIX\_BY\_CHAIN」を追加

書式：FIX\_BY\_CHAIN

「スケジューリング - 固定/解除 - 連鎖固定...」コマンドを実行します。

Ver19.0 Ver19.0 1 (H18.4.24)

(追加・改良)

(1) 「スケジューリング - 実績 - 連鎖確定...」コマンドを追加

確定されたロットから以降の工程(半製品・製品間含む)を連鎖的に確定に設定します。  
また、連鎖的に確定されたロットの半製品側のロットが未確定の場合は、  
反対方向(半製品側)に連鎖的に確定を設定します。

同一生産パターン内の処理では、各工程間のロット比率が1:1の場合のみ連鎖確定  
処理が実行されます。

半製品・製品間の場合は、多:多でも連鎖確定処理が実行されます。

(2) 「スケジューリング - 固定/解除 - 連鎖固定...」コマンドを追加

固定されたシリーズから以降の工程(半製品・製品間含む)を連鎖的に固定に設定します。  
また、連鎖的に固定されたシリーズの半製品側のシリーズが固定されていない場合は、  
反対方向(半製品側)に連鎖的に固定を設定します。

(3) ガントチャート特殊文字へ「%LLNN」を追加

ロットのロット No(N)の桁数表示(桁数に満たない場合は左側に「0」が入ります)  
例: ロットのロット No(N)が「3」で桁数が3の場合は、「003」となります。

(4) ロット No カスタマイズ機能で、「SerialNo」の「Term」を「シリアル」に設定  
している場合、中間体のロット No(N)初期値を更新するタイミングで、ロット No  
カスタマイズ機能のシリアル付番の初期値(中間体ロット No(C)初期値)を更新する  
ようにした。

(5) 初期設定「その他7」タブへ以下を追加

「ロット No カスタマイズ機能で次の備考欄データ有でロット No を非更新」

選択肢:「常に更新する」、「オーダーリスト備考1~5」、「シリーズリスト備考1~5」、  
「ロットリスト備考1~5」の計16個

「常に更新する」以外は、起点工程の選択した備考欄にデータが存在した場合は、  
ロット No 更新処理を実行しません。

Ver18.550 Ver19.0 (H18.4.18)

(追加・改良)

(1) マクロステップ実行ダイアログに「行目まで実行」ボタンを追加。

(2) マクロステップ実行ダイアログに「行目までスキップ」ボタンを追加。

(3) 工程間リソースタンクで、後切替の発生箇所変更。

実際にタンクが空になった時に後切替を発生するようにしました。

兼用タンクの後切替に関しては、Ver18.0 で対応済みです。

Ver18.528 Ver18.550 (H18.4.15)

(追加・改良)

(1) マクロコマンド「LOG\_ADD」を追加

書式: LOG\_ADD 引数1 引数2

引数1: ログファイル名

引数2: 出力メッセージ

引数1で指定したログファイルへ引数2で指定したメッセージを出力します。

引数1で指定したログファイルが存在しない場合は、新たにログファイルを作成します。存在する場合は、ログファイルの先頭行へ新しいメッセージを追加します。ログへの出力では、出力日時も自動的に付加されます。

毎回ログをクリアしてから実行したい場合は、「LOG\_CLEAR」マクロコマンドをマクロファイルの先頭に記述し、最初に行うから使用して下さい。

ログファイルの内容は、メモ帳や「Excel\_Text\_Open」マクロコマンド等から確認して下さい。

(記述例) LOG\_ADD .¥log.txt これからサンプルマクロを実行します。

例では、「これからサンプルマクロを実行します。」というメッセージを

PlanWizardの実行ディレクトリのログファイル"log.txt"へ出力します。

ヒント:「GOTO\_IF\_PLAN\_NOT\_SCHEDULED」マクロコマンド等の制御系マクロとの併用でエラーログの作成等も可能です。

(2) マクロコマンド「LOG\_CLEAR」を追加

書式: LOG\_CLEAR 引数1

引数1: ログファイル名

引数1で指定したログファイルの中身をクリアします。

(その他)

(1) マクロコマンド「LOG\_ADD」の使用例サンプルマクロ「SampleMacro3.txt」を添付します。

Ver18.511 Ver18.528 (H18.4.12)

(追加・改良)

(1) COM機能「IPlanWzd」へ「GetVersion」メソッドを追加

PlanWizardのバージョンを取得します。

(2) コントロールファイルへレコード番号を記述できるようになりました。

書式: Record\_No

「型情報付きフィールド名称」が記述できる位置へ同様に記述することができます。

ヒント: 取込用コントロールファイルで「Record\_No」を「キー」に設定した場合は、高速にデータの取込を行うことが可能です。ただし、「Record\_No」を「キー」に指定する場合は、「キー」の指定は必ず1つにして下さい。

また、「キー」を「Record\_No」にすると生産設備情報で全く同一のレコードを取込むことが可能です。(一連ライン等の設定が必要な場合)

(その他)

(1) PlanWizard.tlb ファイルを添付します。

Ver18.471 Ver18.511 (H18.4.6)

(追加・改良)

\*\*\*\*\* 重 要 \*\*\*\*\*

- (1) 中間体マスターの生産設備情報テーブルへ「優先度」フィールドを追加  
スケジューリング時の割付設備選択の重み計算でここで設定した値が使用されます。  
現状は、生産設備情報のレコード番号が使用されています。  
既存データ読み込み時は、レコード順に 1000 番から 100 番単位で自動付番されます。  
ヒント：レコード順に関係なく、生産設備情報の優先度を決定することが可能です。  
同じ優先度を設定することもできます。また、自動スケジューリング  
では絶対に割付けたくない設備がある場合等は、ここの優先度を大きく  
して、且つ、重みで「生産設備情報優先度の重み」を設定してスケジュー  
リングを実施して下さい。

\*\*\*\*\*

Ver18.414 Ver18.471 (H18.3.27)

(追加・改良)

- (1) 初期設定「システム」タブへ「週の起点」を追加  
スケジューリング優先順位の「最遅仕上日(週)」やオーダー生成ルール等で「W」  
を指定した場合のデフォルトの週の起点を指定します。ただし、オーダー生成  
ルール等で「W(3)」等を指定している場合は、そちらが優先されます。
- (2) 初期設定「システム」タブへ「1/2 週の起点」を追加  
スケジューリング優先順位の「最遅仕上日(1/2 週)」やオーダー生成ルール等で「L」  
を指定した場合のデフォルトの 1/2 週の起点を指定します。ただし、オーダー生成  
ルール等で「L(3/5)」等を指定している場合は、そちらが優先されます。

Ver18.389 Ver18.414 (H18.3.21)

(追加・改良)

- (1) 「資源計画 - 原材料在庫 - 備考間コピー...」コマンドの追加  
オーダーリスト等の各種リストの備考の内容を原材料在庫リスト、原材料在庫  
引当てリストの備考へコピーします。  
ヒント： 原材料在庫リスト、原材料在庫引当てリストとインターフェースをとる  
場合やリスト上でデータを確認するのに非常に便利です。事前に備考  
データ設定コマンドを使用して本コマンドを実施することにより、  
様々な情報を設定することが可能です。
- (2) 「出荷計画 - 備考間コピー...」コマンドの追加  
オーダーリスト等の各種リストの備考の内容を受注情報リスト、製品在庫リスト、  
製品在庫引当てリストの備考へコピーします。  
ヒント： 受注情報リスト、製品在庫リスト、製品在庫引当てリストとインター  
フェースをとる場合やリスト上でデータを確認するのに非常に便利です。  
事前に備考データ設定コマンドを使用して本コマンドを実施すること  
により、様々な情報を設定することが可能です。
- (3) マクロコマンド「MAT\_MEMO\_COPY」を追加。  
書式：MAT\_MEMO\_COPY 引数 1 引数 2 引数 3 引数 4 引数 5

引数 1：コピー元リスト  
「0」：オーダーリスト(半製品在庫のみ対象)  
「1」：シリーズリスト(半製品在庫のみ対象)  
「2」：ロットリスト(半製品在庫のみ対象)  
「3」：オーダーリスト(引当て先)  
「4」：シリーズリスト(引当て先)  
「5」：ロットリスト(引当て先)  
「6」：製品マスター(半製品在庫のみ対象)  
「7」：原材料マスター  
「8」：原材料在庫リスト  
「9」：原材料在庫引当てリスト

引数 2：コピー元対象備考  
「0」：備考 1、～、「4」：備考 5

引数 3：コピー先リスト  
「0」：原材料在庫リスト  
「1」：原材料在庫引当てリスト

引数 4：コピー先対象備考  
「0」：備考 1、～、「4」：備考 5

引数 5：対象レコード  
「0」：全レコード  
「1」：抽出（表示）されているレコード

「資源計画 - 原材料在庫 - 備考間コピー...」コマンドを実行します。

(4) マクロコマンド「SHIP\_MEMO\_COPY」を追加。

書式：SHIP\_MEMO\_COPY 引数 1 引数 2 引数 3 引数 4 引数 5

引数 1：コピー元リスト  
「0」：オーダーリスト  
「1」：シリーズリスト  
「2」：ロットリスト  
「3」：受注情報リスト  
「4」：製品在庫リスト  
「5」：製品在庫引当てリスト

引数 2：コピー元対象備考  
「0」：備考 1、～、「4」：備考 5

引数 3：コピー先リスト  
「0」：受注情報リスト  
「1」：製品在庫リスト  
「2」：製品在庫引当てリスト

引数 4：コピー先対象備考  
「0」：備考 1、～、「4」：備考 5

引数 5：対象レコード  
「0」：全レコード  
「1」：抽出（表示）されているレコード

「出荷計画 - 備考間コピー...」コマンドを実行します。

Ver18.274 Ver18.389 (H18.3.10)

(追加・改良)

- (1) 生産製品数制限マスターの制限単位(選択)フィールドへ以下の選択肢を追加  
「1/2週」, 「週」, 「旬1」, 「旬2」, 「月」

Ver18.258 Ver18.274 (H18.2.20)

(追加・改良)

- (1) スケジューリングカスタマイズ機能「Down\_Create\_By\_Assign\_Equip」を追加  
書式: Down\_Create\_By\_Assign\_Equip  
製品マスターに設定します。下位データ連動でオーダーの作成を制御します。  
製品側の割付設備毎にオーダー作成処理を行います。  
時系列、代替原材料、在庫保存不可(Type2orType3は不可)との組合せは不可です。  
また、セット製品、製番管理等、オーダーコードを使用する場合の組合せは不可  
です。本機能は、オーダーコードを使用します。
- (2) スケジューリングカスタマイズ機能「Down\_Create\_By\_Top\_Reg\_Material\_Lot」を追加  
書式: Down\_Create\_By\_Top\_Reg\_Material\_Lot  
製品マスターに設定します。下位データ連動でオーダーの作成を制御します。  
製品側のロット所要量情報の先頭行の原材料の引当て原材料在庫ロット毎に  
オーダーの作成処理を行います。
- (3) スケジューリングカスタマイズ機能「Down\_Create\_By\_Another\_Material\_Lot」を追加  
書式: Down\_Create\_By\_Another\_Material\_Lot(“引数”)  
引数: 原材料名称  
製品マスターに設定します。下位データ連動でオーダーの作成を制御します。  
引数で指定した原材料の在庫ロット毎にオーダーを作成処理を行います。
- (4) スケジューリングカスタマイズ機能「Lot\_Auto\_Divide\_At」を追加  
書式: Lot\_Auto\_Divide\_At(“引数”)  
引数: 原材料名称  
原材料情報の先頭以外の原材料でロット自動分割を行いたい場合に指定します。  
ここを指定しても、先頭行の原材料は、ロット自動分割の対象となります。  
引数に半角スペースは記述しないで下さい。
- (5) スケジューリングカスタマイズ機能「Not\_Lot\_Auto\_Divide\_At」を追加  
書式: Not\_Lot\_Auto\_Divide\_At(“引数”)  
引数: 原材料名称  
原材料情報の先頭行の原材料でロット自動分割を行いたくない場合に指定します。  
引数に半角スペースは記述しないで下さい。

Ver18.245 Ver18.258 (H18.2.14)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「MASTER\_DEVELOP\_CREATE」を追加  
書式: MASTER\_DEVELOP\_CREATE 引数1 引数2

引数 1：対象製品

「0」：抽出（表示）されている製品

「1」：全製品

「2」：抽出（表示）されている製品 / 半製品

「3」：全製品 / 半製品

引数 2：（「0」：出力のみ、「1」：リスト作成後、Excel で確認）

「ユーティリティ - マスター展開 / 逆展開 - マスター展開リスト作成...」コマンドを実行します。

( 2 ) マクロコマンド「MASTER\_REVERSE\_DEVELOP\_CREATE」を追加

書式：MASTER\_REVERSE\_DEVELOP\_CREATE 引数 1 引数 2

引数 1：対象原材料

「0」：抽出（表示）されている原材料 / 半製品

「1」：全原材料 / 半製品

「2」：抽出（表示）されている半製品

「3」：全半製品

引数 2：（「0」：出力のみ、「1」：リスト作成後、Excel で確認）

「ユーティリティ - マスター展開 / 逆展開 - マスター逆展開リスト作成...」コマンドを実行します。

Ver18.037 Ver18.245 (H18.2.8)

( 追加・改良 )

( 1 ) 「ユーティリティ - マスター展開 / 逆展開」ポップアップメニュー追加

( 2 ) 以下のコマンドを追加

「ユーティリティ - マスター展開 / 逆展開 - マスター展開リスト作成...」

マスター展開リスト（テキストファイル）を作成します。

ヒント：マスター確認に非常に便利です。

( 3 ) 以下のコマンドを追加

「ユーティリティ - マスター展開 / 逆展開 - マスター逆展開リスト作成...」

マスター逆展開リスト（テキストファイル）を作成します。

ヒント：マスター確認に非常に便利です。

Ver18.028 Ver18.037 (H18.1.17)

( 追加・改良 )

( 1 ) マクロコマンド「ACTIVE\_TABLE\_FIELD\_CLEAR」を追加

書式：ACTIVE\_TABLE\_FIELD\_CLEAR 引数 1

引数 1：クリアをするフィールドを型情報付きフィールド名称で指定して下さい。

現在アクティブなテーブルウィンドウで表示されているレコードの引数 1 で指定

したフィールドの内容をクリアします。

ヒント：テーブルフィールドのレコードを削除する場合に便利です。

( 2 ) 以下のフィールドの名称を変更（以下のカタカナは全て半角）

旧：設備マスター「稼働率計算パターン」 「稼働率計算パターン」

旧：ワークセンタマスター「稼働率計算パターン」 「稼働率計算パターン」



旧：ワークセンタグループマスター「稼働率計算パターン」「稼働率計算パターン」  
旧：リソースマスター「稼働率計算パターン」「稼働率計算パターン」  
旧：個別管理リソースマスター「稼働率計算パターン」「稼働率計算パターン」

Ver18.015 Ver18.028 (H18.1.11)

(追加・改良)

(1) ガントチャートからの移動でリソース平準化時、個別管理リソースを考慮するように改良した。

Ver18.0 Ver18.015 (H17.12.14)

(追加・改良)

(1) ガントチャート編集メニューへ「情報表示 - ロット生産詳細情報表示...」コマンドを追加  
ロットの生産詳細情報を表示します。

(2) 原材料在庫リストの棚卸情報テーブルの中のフィールドのデフォルト名称を変更

旧：論理数量                      新：理論数量

旧：論理数量差異                新：理論数量差異

(3) 製品在庫リストの棚卸情報テーブルの中のフィールドのデフォルト名称を変更

旧：論理数量                      新：理論数量

旧：論理数量差異                新：理論数量差異

この他のバージョンアップ履歴に関しては、以下のリンクをご覧ください。

[APS/生産スケジューリングシステムPlanWizard](#)

[過去のバージョンアップ詳細履歴とリリース情報](#)

カタログ・製品紹介CDのお申込みは [こちら](#) から

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)